

「夢を大切にする生き方、仲間を大切にする生き方」(大嶋啓介氏講演会)

令和元年度学園祭が、2019年9月1日(日)から3日(火)の予定で始まりました。

初日の9月1日(日)は、開会式と放送部発表の後、午前10時から居酒屋てっぺん代表取締役の大嶋啓介(おおしま けいすけ)氏をお招きし、「夢を大切にする生き方、仲間を大切にする生き方」の演題で講演会がありました。

事前に設置した生徒の座席が講師から離れ過ぎているということで、生徒の座席を極限まで前に移動させてから、講演が始まりました。講演中は生徒2~3人が一組となり、何度も話し合いをする形で進められました。そのたびに、お互いにハイタッチや拍手をしたり、「いいね」と褒め讃えて自己肯定感を高めました。



最高のパフォーマンスを発揮する心の状態は、①強気(自信を持つ)、②冷静(リラックスする)、③楽しいという気持ち。人間の潜在能力は顕在能力の3万倍もあり、人間の脳はPCの10万台もの能力がある。うまくいく人といかない人の違い、人生の差とは「思い込みの差」で、「思い込み」が変われば、結果が変わり、人生が変わる。人間の脳は「思い込み」を実践するから、過去の経験や体験で勝手に決めつけず(自分の可能性に蓋をしないで)、自分がどうありたいかが大切。限界を突破し可能性を最大限に引き出す方法は、①自分の可能性に気付くこと、②仲間の力や応援(またはライバルの存在)、③自分以外の誰かを本気で喜ばせたい(誰かのために)と思うこと。などの話がありました。最後に、生徒が両親や仲間に対して「感謝と決意の手紙」を書き、2時間の講演が涙と感動のうちに終わりました。

講演の前半、生徒と教職員全員で行った「本気のじゃんけん」では、会場の体育館が割れんばかりの半端ない盛り上がりでした(講師から「今年度一番」と褒められました)。

